

第2回 在台湾日本語関係資料ワークショップ

在台湾日本語歴史資料の保存と利用

日時：2012年11月30日（金） 9:30－17:30

場所：京都大学人文科学研究所 4階 大会議室

主催：京都大学人文科学研究所

人間文化研究機構「日本関連在外資料の調査研究」プロジェクト研究カテゴリーB

植民地期台湾・「南洋」における日本人社会に関する資料の調査・研究

【報告1】

国立台湾図書館が所蔵するデジタル化資料と

その付加価値応用の概況について

陳雪玉（国立中央図書館台湾分館館長）

【報告2】

国立台湾歴史博物館が所蔵する

日本統治時代における台湾史関連文物及び史料

謝仕淵（国立台湾歴史博物館副研究員兼研究組組長）

【報告3】

台湾師範大学図書館が所蔵する「台北高等学校」の旧籍紹介

蔡錦堂（台湾師範大学台湾史研究所副教授）

【報告4】

台湾大学図書館の日本語資料の保存と利用について

洪淑芬（国立台湾大学図書館特蔵組編審）

【報告5】

台湾における档案資料デジタル化の成果とその応用について

謝国興（中央研究院台湾史研究所所長）

発言言語：中国語（通訳付）



京都大学 北門入ってすぐ右

●市バス 17・203系統「京大農学部前」下車 徒歩1分/ 31・201・206系統「百万遍」下車 東へ徒歩5分

●京阪電車 「出町柳」下車 東へ徒歩15分

【申込不要・来聴無料】

在台湾日本語歴史資料の保存と利用 プログラム

2012年11月30日(金) 京都大学人文科学研究所

9:30- 9:35 挨拶 岩井茂樹(京都大学人文科学研究所所長)

9:35- 9:45 趣旨説明 籠谷直人(京都大学人文科学研究所教授)

9:45-10:45【報告1】陳雪玉(国立中央図書館台湾分館館長)

国立台湾図書館が所蔵するデジタル化資料とその付加価値応用の概況について

15分休憩

11:00-12:00【報告2】謝仕淵(国立台湾歴史博物館副研究員兼研究組組長)

国立台湾歴史博物館が所蔵する日本統治時代における台湾史関連文物及び史料

昼休憩(12:00-13:30)

13:30-14:30【報告3】蔡錦堂(台湾師範大学台湾史研究所副教授)

台湾師範大学図書館が所蔵する「台北高等学校」の旧籍紹介

15分休憩

14:45-15:45【報告4】洪淑芬(国立台湾大学図書館特蔵組編審)

台湾大学図書館の日本語資料の保存と利用について

15:45-16:45【報告5】謝国興(中央研究院台湾史研究所所長)

台湾における档案資料デジタル化の成果とその応用について

16:45-17:30 質疑応答

司会：鍾淑敏(中央研究院台湾史研究所副研究員)

発表言語：中国語(通訳付)

18:00より 懇親会を予定しております

場所：芝蘭会館(レストラン「しらん」)

参加ご希望の方は11/25までに籠谷研究室(ws-kago@zinbun.kyoto-u.ac.jp)に問合せ下さい。

主催：京都大学人文科学研究所

人間文化研究機構「日本関連在外資料の調査研究」プロジェクト研究カテゴリーB

植民地期台湾・「南洋」における日本人社会に関する資料の調査・研究(代表：籠谷直人)

問い合わせ先： 籠谷研究室 ws-kago@zinbun.kyoto-u.ac.jp